

私の母

ケオダラ・ラッ タナタイサン

私の母は目が見えないけれど、私のと一  
一です。母の考え方や生き方は私にとって大  
きな力です。

私の母はとても強くて、優しい人です。母  
は目が見えません。でも、生まれつきではあ  
りません。2014年、私が八歳の時、母の目が  
悪くなりました。病院で調べると、母の見る  
ことが出来る力はやくニパーセントしかあり  
ませんでした。その時、母は目が見えていな  
かったのに、銀行で働きながら毎日とても遠  
くまでバイクで仕事へ行って、三人の子供を  
育ててくれています。2022年には母の目は  
ぜんぜん見ることができなくなりました。いま  
しました。けれども、母は今でも料理ができます。  
母はいつも私に学校へ持っていく弁当を作っ  
てくれました。母は目が見えなくても心は盲  
目ではありません。母は掃除も好きですし、  
時々ケーキを作って、近所の子供たちにあげ

ること好きです。ラオスにいた時には私は  
母を教会へ連れて行きました。子供の時は母  
が私を教会へ連れて行、てくれました。私は  
今日本で勉強しているので母を教会連れて行  
ってあげることはいけません。誰かが母を教  
会へ連れて行、てあげてほしいと思います。

今は私は母のそばにいないので母の生活が心  
配です。私の父も私が11歳の時、脳梗塞とい  
う病気でうまく話せなくなりました。ですが  
今母は父の「口」になり、父は母の「目」に  
なっています。そして、二人はいつも助け合  
っています。その姿を見て、私は家族の大切  
さを毎日感じていました。私にとって家族は  
宝物です。

私は母を心からほこりに思っています。い  
つか日本で母とい、しよに雪や海を見たいで  
す。